

研究課題名「地方自治体が管理する健康関連データを利用した地域在住高齢者に対する効果的な介護予防の在り方に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

以下の調査、測定を受けた方

ア) 南伊勢町

- ①2012 年度質問紙調査「暮らしの中の元気チェック」
- ②2013-2015 年度質問紙調査「町民包括評価」
- ③2014-2015 年度体力等測定調査「げんき測定会」
- ④2019 年度質問紙調査「町民包括評価」

イ) 豊山町

- ①2017 年度質問紙調査「介護予防と暮らしのニーズ調査」
- ②2017 年度質問紙調査「在宅介護実態調査」
- ③2019 年度質問紙調査「介護予防と暮らしのニーズ調査」
- ④2019 年度質問紙調査「在宅介護実態調査」

ウ) 碧南市

- ①2011-2020 年度質問紙調査「おたっしや度チェック」
- ②2012-2019 年度機能測定調査「おたっしや大学体力等測定会」

エ) 大台町

2017 年度質問紙調査「日常生活圏域ニーズ調査」

オ) 志摩市

- 2015 年度質問紙調査「(要支援者対象) 日常生活圏域ニーズ調査」
- 2019 年度質問紙調査「(65 歳以上対象) 日常生活圏域ニーズ調査」

2. 研究目的・方法・研究期間

- (1) 目的：地域在住高齢者における健康と生活環境、生活習慣、社会的活動等との関連について明らかにします。
- (2) 方法： 観察研究
- (3) 研究期間： 実施承認日 ～ 2024 年 3 月 31 日
- (4) 研究組織

名古屋大学医学部附属病院老年内科 講師 大西丈二 (研究責任者)
名古屋大学地域在宅医療学・老年科学 准教授 梅垣宏行 (研究分担者)
名古屋大学地域連携・患者相談センター 病院准教授 鈴木裕介 (同上)
名古屋大学国際保健医療学・公衆衛生学 准教授 平川仁尚 (同上)
名古屋大学地域在宅医療学・老年科学 教授 葛谷雅文 (同上)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

協力市町の事業として実施した調査、測定等により収集されたものを用います。異なる時期に収集されたデータは協力市町によって連結され、氏名・生年月日・詳細な住所（大字以降）を除外された形で、名古屋大学に提供されます。対象によって、詳細なデータが集まることになり、氏名・生年月日・詳細な住所がなくても個人が特定する危険が残るため、名古屋大学は提供されたデータを個人情報として厳重に扱います。

一部の地域においては、研究のため新規に質問紙調査を行い、既存情報と連結して分析させていただきますが、適切に匿名化を行い、個人情報は厳重に管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについてご本人もしくはご本人の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者の方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院老年内科 講師 大西丈二

名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2364（直通）、FAX 052-744-2371

E-mail: j-onishi@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院老年内科 講師 大西丈二